平成 27 年度 事業報告

1 平成 27 年度 事業報告

1. はじめに

富士山は、2013 年 6 月カンボジア・プノンペンで開催された第 37 回ユネスコ世界遺産委員会において、「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」として世界文化遺産に登録されました。当法人は昨年に引き続き、世界遺産富士山の保全とその普遍的価値の後世への継承のため、静岡、山梨両県との連携を強化し、富士山の幅広い PR・啓発活動を実施いたしました。

2. 主要な活動とトピックス

(1) 1 月 22 日(木)富士山世界遺産国民会議のホームページをリニューアル
富士山会議のホームページを、より分かりやすく、見て楽しいものとなるよう改訂しました。

(2) 2 月 23 日(月)、静岡・山梨両県で各々「富士山の日」記念イベントが開催されました。富士山会議も両イベントに参加、特に静岡県会場では、「富嶽三十六プロジェクト」の商品展示等、PR 活動を展開しました。
会場:静岡県:日本平山頂および日本平ホテル/山梨県:ハイランドリゾートホテル＆スパ

(3) 3 月 11 日(水)、静岡県議会は、世界遺産富士山の保全について基本理念を定めた「県世界遺産富士山基本条例」を可決、成立しました。

(4) 3 月 16 日(月)、山梨県議会は、世界文化遺産・富士山の保全施策の基本理念を定めた「県世界遺産富士山基本条例」を可決、成立しました。

(5) 3 月 24 日(火)、第 6 回富士山世界文化遺産協議会開催
会場:プラサ ヴェルデ(沼津市) コンベンションホール
2016 年 2 月1日迄にユネスコに提出される「保全状況報告書」の富士山全体ヴィジョンおよび各種戦略の骨子に関し、イコモスからのコメントへの対応が承認されました。

(6) 3 月 27 日(金)、静岡・山梨両県が共同で「富士山保全協力金」に関する統一ロゴマークを作成しました。
ロゴマークは、富士山会議が提案したものが採用されました。

(7) 3 月 31 日(火)、静岡・山梨両県が共同で世界遺産富士山および世界遺産の構成資産に関するパンフレット(一般用、子供用)を作成しました。
パンフレットの作成に際しては、富士山会議が編集協力をしました。

(8)4 月、平成12年より推進している「富士(ふじ)の国(くに)づくりキッズ・スタディ・プログラム」の教材を改訂しました。

主な改訂点は、①江戸の庶民文化の発展と日本各地への影響等の内容を追加 ②富嶽三十六景全46景を CD-ROM に収録 ③グループ学習用パネルを富嶽三十六景全46景を利用できるものに変更 等、学習バリエーションを増やすことにより、使いやすく、学びやすいものとしました。

(9)5 月 26 日(火)第 5 回富士山世界文化遺産学術委員会開催

会場:都道府県会館

「保全状況報告書」に関し、イコモスからのコメントへの対応、ヴィジョンおよび各種戦力、包括的保存管理計画の改定等について、審議されました。

(10)6 月 20 日(土)、昨年に続き、静岡新聞社・SBS が主催する静岡市 IAI スタジアムにおける、 J リーグ清水エスパルス vs ヴァンフォーレ甲府の試合(富士山ダービー)を「富士山チャリティマッチ」富嶽三十六試合第 2 弾と位置づけ、試合会場で募金活動及び啓発活動を実施しました。

(11)6 月 30 日(火)、富士山会議の活動をより若年層にアピール、富士山への理解・啓発を促進するため、富士山会議のホームページのスマートフォン対応ページを作成、リリースしました。

(12)7 月、夏山シーズンを迎え、山梨、静岡両県の山小屋等で、登山者・来訪者に向け「いつまでも富士山を世界遺産に」シールを計 49,000 枚配布、啓発に努めました。

(13)7 月 17 日(金)、富士山会議のホームページのパソコン用英語版を作成、リリースしました。

(14)8 月 1 日(土)、富士山会議のホームページのスマートフォン用英語版を作成、リリースしました。

(15)8 月 1 日(土)、富士山 5～6 合目および西湖周辺で、また、9 月 11 日(金)富士山 5～6合目で実施された公益財団法人「富士山をきれいにする会」の「前期クリーン作戦」および「後期クリーン作戦」において、富士山会議のパンフレット・啓発シールを配布、啓発活動を実施しました。

(16)8 月 7 日(金)、サントリーホールで開催された「日本カンタービレコンサート」を富嶽三十六音楽祭第3弾と位置づけ、会場でパネル展示、パンフレット、シールの配布等の啓発活動及び募金活動を実施しました。

(17)8 月 23 日(日)、富士北麓公園陸上競技場で開催された「火祭りロードレース」の会場において、パンフレット、シールの配布等の啓発活動及び募金活動を実施しました。

(18)9 月 5 日(土)、公益財団法人富士山をきれいにする会の青少年版「子富士の会」の富士山 5 合目周辺の「富士山クリーン作戦」において、パンフレット、シールの配布等の啓発活動を実施しました。

(19)9 月 5 日(土)より 10 月 12 日(月)まで、静岡県立美術館で開催された「世界遺産登録記念　特別展　富士山　信仰と芸術」を後援、パネル展示、シール配布等の啓発活動を実施しました。

(20)10 月 1 日(木)、第 6 回富士山世界文化遺産学術委員会開催

会場:都道府県会館

今夏の富士山の登山者状況の報告がなされ、また、「保全状況報告書」の全容について審議がなされました。

(21)10 月 23 日(金)、第 7 回富士山世界文化遺産協議会開催

会場:ハイランドリゾートホテル＆スパ(富士吉田市)

ユネスコに提出された「保全状況報告書」の全容が承認されました。また、この会議の中で、富士山会議が、富嶽三十六チャレンジとして募集・選出した「富嶽三十六コピー」を、山梨・静岡両県知事に贈呈しました。

(22)10 月 24 日(土)より 11 月 30 日(月)まで、山梨県立博物館で開催された「世界遺産登録記念　特別展　富士山　信仰と芸術」を後援、パネル展示、シール配布等の啓発活動を実施しました。この展覧会は、上記静岡県の同展と共同で開催されたものです。

(23)11 月 22 日(日)、山梨中銀スタジアムで開催されたJリーグヴァンフォーレ甲府 vs 清水エスパレスの試合(富士山ダービー)を富嶽三十六試合第 3 弾と位置づけ、試合会場で募金活動及び啓発活動を実施しました。

4ページ以降、各活動の報告の詳細です。

2 各種委員会の運営
3 主催および共催事業
4 後援事業および PR/啓発活動
5 富士山基金事業と富士山基金への寄付

2　各種委員会の運営

1）運営委員会

日時　1 月 16 日(金)、3 月9日(月)、4 月 16 日(木)、5 月 25 日(月)、6 月 30 日(火)、
8 月 10 日(月)、9 月 17 日(木)、10 月 22 日(木)、11 月 26 日(木)、12 月 22 日(火)
計　10 回

場所　富士山世界遺産国民会議事務局

内容　活動内容の検討と活動報告

2）評議員会

日時　1月 27 日(火)/第 54 回、 3 月 31 日(火)/第 55 回、 6 月 9 日(火)/第 56 回、
10 月 6 日(火)/第 57 回、 12 月 22 日(火)/第 58 回
計 5 回

場所　富士山世界遺産国民会議事務局

内容　活動内容の検討と活動報告

3　主催および共催事業

1）富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム

2012 年より展開している「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の教材を改訂しました。

① 企画・発行名を変更

旧名称：富士山世界文化遺産登録推進静岡・山梨合同会議
認定 NPO 法人富士山を世界遺産にする国民会議

↓

新名称：富士の国づくり推進会議（静岡県・山梨県）
認定 NPO 法人富士山世界遺産国民会議

② 冊子について

1. 表紙のデザインを変更

2. 内容を追加

・「江戸の庶民文化とその発展」東京学芸大学　大石教授

・「他学年や総合学習での授業方法」3～6年生でできる実践紹介
「昔から人々が大切にしてきたもの～富士塚を考える～」筑波大学附属小学校　梅澤教諭

③「富嶽三十六景」全46景収録 CD-ROM について

・浮世絵5種掲示用パネル⇒映像掲示全46景に変更

・富嶽三十六景　全46景の解説を追加収録

・富嶽三十六景・富士見地図を追加収録

④ グループ学習用印刷物について

・浮世絵4種パネル⇒富嶽三十六景　全46景を印刷物3枚裏表に変更

4　後援事業および PR/啓発活動

1）1 月 22 日（木）　富士山会議ホームページを改訂、リリース

富士山会議のホームページをより分かりやすく、見て楽しいものとなるよう改訂しました。

ホームページのトップページ

2）2月3日（火） 静岡県社会科教育研究部委員研修会で「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」を説明

同県の社会科教育研究部委員研修会で、富士山会議が静岡、山梨両県と推進する「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の概況と今後の展開について説明、理解と協力を求めました。

日　時　:2015 年 2 月 3 日（火）15:00～

会　場　:同県教育会館中ホール

静岡県文化・観光部　杉山理事

2016 年ユネスコに提出する保全状況報告書の中で、「富士の国づくりキッズ。スタディ・プログラム」を施策として記述することを報告

富士山会議　松本ｾﾞﾈﾗﾙ･ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ

プログラムの全体像と 2015 年度事業計画を説明

NHK エデュケーショナル　林ﾌﾟﾛﾃﾞｭｰｻｰ

2013、2014 年に実施したプログラムのアンケート結果を報告

3）2月16日（月） 2015 年度定時総会・理事会を開催

2015 年度富士山会議定時総会および理事会を開催しました。

昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画、予算計画等が承認されました。また、理事の改選がなされ、理事長に遠山敦子氏が再任されました。

会　場:霞山会館:東京都千代田区霞が関 3-2-1　霞が関コモンゲート西館 37 階

4）2 月 23 日（月）「富士山の日」イベントへの参加

日　時　:2015 年 2 月 23 日（月）13:30～

内　容　:静岡県、山梨県が各々記念イベントを実施し、富士山会議も両イベントに参加しました。

静岡県:静岡商工会議所が日本平山頂に建立、静岡県に寄贈した、中曽根康弘富士山会議名誉会長の揮毫による「富士山」の石碑の除幕式が行われました。その後日本平ホテルで行われた記念鼎談に、川勝平太静岡県知事、芳賀徹静岡県立美術館館長と共に、高階秀爾富士山会議副理事長（大原美術館館長）が出席しました。また同会場では、223フェローのパネルや富士山会議が推進する「富嶽三十六プロジェクト」の商品展示等、PR 活動を展開しました。

中曽根名誉会長揮毫の「富士山」の碑

「富士山の日」記念鼎談

「富嶽三十六プロジェクト」グッズ紹介コーナー

山梨県：後藤斎　新山梨県知事の下、ハイランドリゾートホテル＆スパで開催された記念式で、郷土芸能の披露や富士山の保全活動に関わる方々のリレー・トークが行われ、杉本晶富士山会議副理事長が出席しました。

左：杉本晶　富士山会議副理事長　　中央：後藤斎　山梨県知事

中央右：堀内光一郎　山梨県商工会議所連合会副会長（富士山会議理事）

5）2 月 23 日（月） 第5回「富嶽三十六カンパイ！」開催

今回で第5回目になる「富嶽三十六プロジェクト」のひとつ、「富嶽三十六カンパイ！」のイベントを、富士山の日である同日、ゲストに元 F1 レーサーの山本左近氏を迎え、静岡新聞社東京支社の会議室をお借りして開催しました。甲州ワインと富士山麓の素材を使用した料理と共に、富士山を応援する懇談を実施、富士山親派の増勢に努めました。

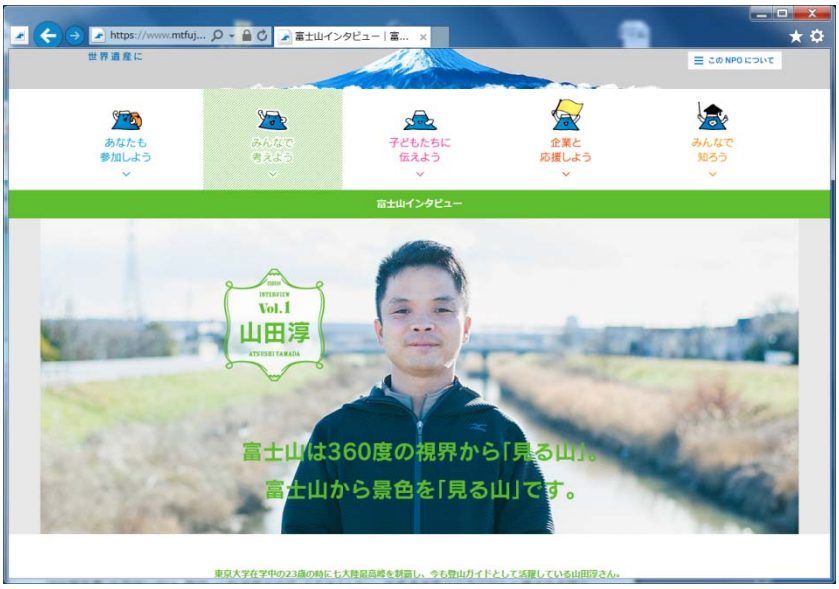
また同会には、静岡県文化・観光部交流企画局富士山世界遺産課　小坂寿男課長、山梨県知事政策局富士山保全推進課　泉智徳課長、静岡新聞社　菅本部長、山梨日日新聞社　鈴木次長にもご参加いただきました。

挨拶をするゲストの山本左近さん（右）

富士山の形に盛り付けられた富士山麓の野菜

6） 3 月 4 日（水） 公式ホームページで新企画を開始

新企画「富士山インタビュー」を開始しました。様々な形で富士山に関わる活動を続ける方々にご登場いただき、富士山に対する思いや、富士山の持つ魅力、価値等について、語っていただくページです。第1回目は登山家の山田淳さんに登場していただきました。



7）3 月 24 日（火） 第6回富士山世界文化遺産協議会にオブザーバー参加

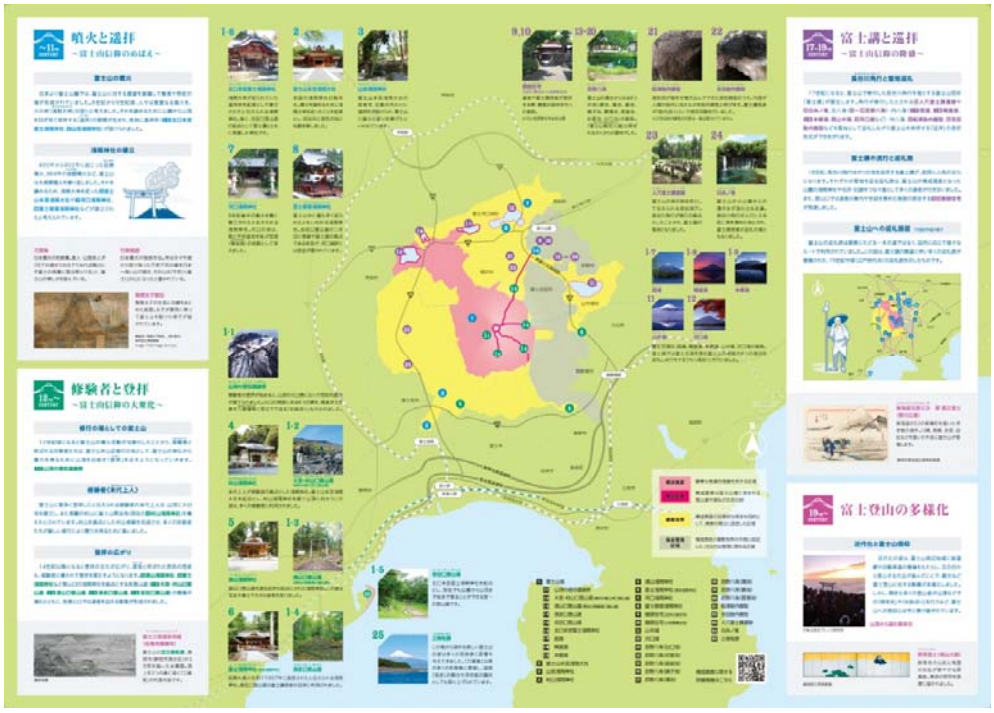
2015 年 3 月 24 日（火） 15:00～ 沼津市のプラサ ヴェルデ 3 階コンベンションホール B にて、第6回富士山世界文化遺産協議会が開催されました。
昨年末に開催された第 5 回富士山世界文化遺産協議会で承認された、2016 年 2 月 1 日迄にユネスコに提出される「保全状況報告書」の富士山全体ヴィジョンおよび、各種戦略の骨子に関し、イコモスからのコメントへの対応について説明、承認されました。また、同協議会の平成 26 年度の決算、27 年度の予算が承認されました。

8)　3 月 27 日（金） 保全協力金ロゴマークを作成

静岡、山梨両県が共同で、「富士山保全協力金」に関する統一ロゴマークを制作しました。このロゴマークのデザインは、富士山会議が提案したものが採用され、昨夏より利用を開始しました。

9）「富士山および構成資産情報提供パンフレット」について

富士山世界文化遺産協議会(=静岡、山梨両県が共同で)が、富士山および構成資産情報提供に関する「パンフレット」を作成しました。富士山会議が編集に協力、昨夏から利用されています。また、日本語版に加え、英語、韓国語、中国語（2 種）、タイ語版も作成されました。



大人版パンフレット

子供版パンフレット（12P建）

10）　5 月 26 日（火）　第 5 回富士山世界文化遺産学術委員会にオブザーバー参加

5 月 26 日 14:00～、都道府県会館 402 会議室で開催された「第 5 回富士山世界文化遺産学術委員会」（委員長：遠山敦子富士山会議理事長、副委員長：高階秀爾富士山会議副理事長）に　オブザーバーとして出席しました

同委員会では、昨年末、文化庁よりイコモスに対して諮問した「保全状況報告書」の内容についての、イコモスからのコメントに対する報告書の改訂点について説明がなされ、審議の結果承認されました。

11） 6月 20 日（土） 静岡新聞・SBS チャリティマッチでの募金および啓発活動

昨年に続き、静岡新聞社・SBS が主催するＪリーグ清水エスパルスの試合（ヴァンフォーレ甲府との「富士山ダービー」）を富士山チャリティマッチ・「富嶽三十六試合」第2弾と位置づけ、試合会場で募金活動および啓発活動を展開すると共に、試合のハーフタイムには「いつまでもフラッグ」を場内一周させる等の啓発活動を実施しました。

日　時　:6 月 20 日（土） 16:00 キックオフ
場　所　:静岡県静岡市 IAI スタジアム

静岡新聞社・SBS の新入社員の方々にご協力をいただき募金活動を実施

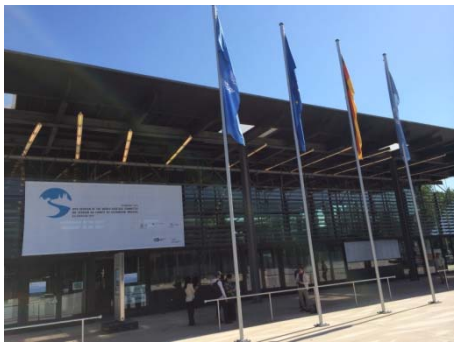
富嶽三十六プロダクト関連販売ブース

特大ヴィジョンでも紹介、場内アナウンスもしていただきました

ハーフタイムには富士山フラッグを持ってグラウンドを一周、活動を PR しました

12） 6 月 28 日（日）～30 日（火）、第 39 回ユネスコ世界遺産委員会にオブザーバー参加

6 月 28 日からドイツ・ボンで開催された第39回ユネスコ世界遺産委員会にオブザーバー参加しました。28 日の夜には、開会のセレモニーとレセプションが行われ、会場で、第2代世界遺産センター・センター長　フランチェスコ・バンダリンさん、カナダのクリスティナ・キャメロンさん、ユネスコ及びイクロム文化遺産特別顧問　ムニール・ブシュナキさん、IUCNのティム・バットマンさん等にお会いすることができました。



29、30 両日の世界遺産会議に参加しました

13） 6月30日（火） スマホ版 HP をリリース

若年層に富士山への理解・啓発を促進するため、富士山会議のホームページのスマートフォン対応ページを作成、リリースしました。皆さんも是非ご覧下さい。

トップページ

14） 山梨、静岡両県で啓発シールを配布

多くの登山者が訪れる夏の富士山で、登山者を中心とした来訪者に対し、啓発シールを配布、世界遺産富士山の保全の PR に努めました。

山梨県側	吉田口五合目インフォメーションセンター	5,000 枚	
	五合目山小屋	13,000 枚	
	六合目山小屋	500 枚	
	七合目山小屋	3,700 枚	
	八合目山小屋	8,800 枚	計 31,000 枚
静岡県側	富士宮登山口	7,000 枚	
	須走登山口	4,000 枚	
	御殿場登山口	2,000 枚	
	富士宮市	5,000 枚	計 18,000 枚

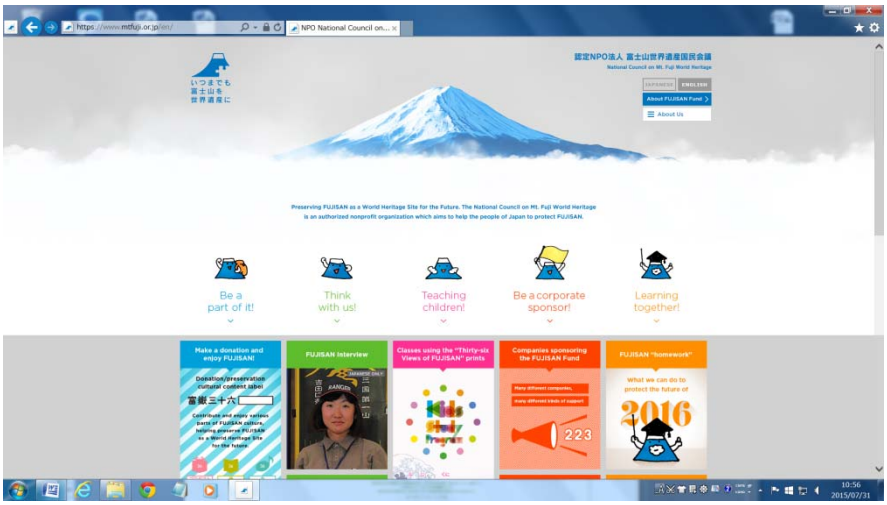
総計 49,000 枚

15）「富士山を詠む」俳句賞事業を後援

富士宮市・富士宮市教育委員会が主催、静岡県、静岡県俳句協会、俳人協会静岡県支部が後援する同事業を後援しました。募集期間は 2015 年 7 月 1 日～9 月 30 日、一般の部、小中学生の部を募集しました。入選発表は 2016 年 1～3 月の予定です。

16） HP の英語版サイトをリリース

7月 17 日（金）、パソコン用英語版ホームページを整備、リリースしました。また、スマートフォン版の英語サイトも 8 月 1 日（土）、リリースしました。



PC サイト

スマホサイト

17)　富嶽三十六チャレンジ「富嶽三十六コピー」を実施

ジャパンギビングのオンラインファンドレイジングシステムを利用した富嶽三十六プロジェクトのひとつ、富嶽三十六チャレンジの第 4 弾。コピーライター中村禎氏（電通：TCC 最高賞、カンヌ国際コンクールシルバーなど受賞多数、宣伝会議コピーライター養成講座専門コース講師）がフェイスブック等で富士山基金を訴求するコピーの応募を呼びかけ、富士山基金への寄付とともに募り、応募作の中から、優秀 36 作品を選出するというものです。

7 月 25 日（土）、選考会（最終コピーディレクション会）が行われ、50 人以上のコピーライターの参加、応募総数 1,719 作品の中から、36 作品が選出されました。今後、このコピーを利用した PR・啓発の展開を計ります。

10 月 23 日（金）に開催された第 7 回富士山世界文化遺産協議会において、この富嶽三十六コピーが静岡、山梨両県知事に贈呈されました。

18)　（公財）富士山をきれいにする会　前・後期「クリーン作戦」における啓発活動

8 月 1 日（土）、富士山 5～6合目および西湖周辺で実施された、同会の「前期クリーン作戦」で富士山会議のパンフレット、啓発シール各 1,900 枚を配布。また、9 月 11 日（金）に富士山 5～6合目で実施された「後期クリーン作戦」でもパンフレット、シール各 400 枚を配布、PR・啓発活動を実施しました。

前期クリーン作戦

後期クリーン作戦

19)　富嶽三十六音楽祭第 3 弾「日本カンタービレコンサート」を後援、啓発活動を実施

8 月 7 日（金）、サントリーホールで開催された富嶽三十六音楽祭第 3 弾「日本カンタービレコンサート」を後援しました。当日会場において、富士山会議の活動、富嶽三十六プロジェクトの活動、富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラムの活動についてのパネル展示および富士山会議のパンフレット、啓発シール、富嶽三十六プロジェクトのパンフレット各 1,650 枚配布等の啓発活動を実施。同時に富士山基金への募金活動を行ないました。

富嶽三十六プロジェクト等、富士山会議の活動を PR

20) 「火祭りロードレース」で啓発活動を実施

8 月 23 日（日）、山梨県富士吉田市富士北麓公園陸上競技場をメイン会場として開催された　ロードレース大会「火祭りロードレース」（富士吉田市陸上競技協会、山梨日日新聞社、山梨放送主催）の会場にて、富士山会議のパンフレット、啓発シール（1,700 枚）、啓発缶バッジ（500 個）を配布、啓発活動を実施するとともに、富士山基金への募金活動を実施しました。
当日は、小林正樹理事（（公財）富士山をきれいにする会常務理事）にもお手伝いをいただきました。

21) （公財）富士社会教育センターへ協力

8 月 26 日（水）、同センターにより実施された小中学生の富士登山に際し、先方からの要請に応え、啓発シール 110 枚を配布し、啓発活動を実施しました。

22) 子富士の会「クリーン作戦」で啓発活動を実施

9 月 5 日（土）、（公財）富士山をきれいにする会の青少年版である「子富士の会」の富士山 5 合目周辺の美化活動「富士山クリーン作戦」において、パンフレット、啓発シール（各 140 枚）を配布、PR・啓発活動を実施しました。

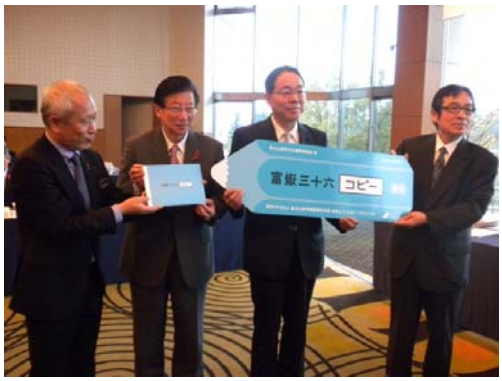
23) 静岡県立美術館「世界遺産登録記念　特別展　富士山　信仰と芸術」を後援、PR・啓発活動を実施

9 月 5 日(土)より 10 月 12 日(月)まで開催中の、上記特別展を後援、会場で富士山会議の活動を紹介すると共に、富士山に関わる文化芸術紹介および富士(ふじ)の国(くに)づくりキッズ・スタディ・プログラムの紹介パネルを展示、さらに、啓発シールの配布(1,000 枚)等、PR・啓発活動を実施しました。

富士山会議の活動を PR

26） 第 7 回富士山世界文化遺産協議会にて富嶽三十六コピーを贈呈

10 月 23 日（金）、山梨県富士吉田市ハイランドリゾートホテル＆スパで開催された第7回富士山世界文化遺産協議会にて、先に富嶽三十六チャレンジとして募集し選出した、富士山を応援するコピー36 作品を両県知事に贈呈しました。



コピーを受け取る両県知事

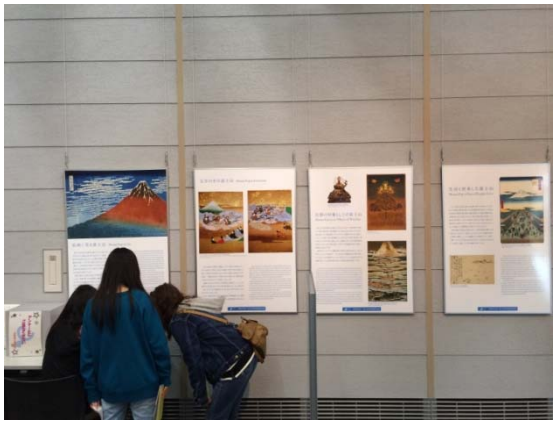
27） 第1回富士山一周国際駅伝を後援

11月 14 日（土）、15 日（日）に開催された、上記駅伝大会（富士山一周国際駅伝実行委員会主催、静岡県、山梨県、小山町、御殿場市、山中湖村、忍野村、鳴沢村、富士吉田市、富士河口湖町、富士宮市、沼津市、三島市、裾野市、静岡新聞社・静岡放送等後援）を後援しました。同大会は（公社）裾野青年会議所が中心となり、富士山麓の7青年会議所が協力して、「世界へかける道」をテーマに実施されたものです。

28） 山梨県立博物館「世界遺産登録記念　特別展　富士山　信仰と芸術」を後援

9 月 5 日（土）より 10 月 12 日（月）まで静岡県立美術館で開催された特別展に続き、10 月 24 日（土）より 11 月 30 日（月）まで山梨県立博物館で開催される特別展を後援、富士山会議の活動紹介、富士山に関わる文化芸術紹介および富士の国（ふじのくに）づくりキッズ・スタディ・プログラムの紹介パネルの展示、啓発シールの配布（1,000 枚）等、啓発活動を実施しました。

富士山会議活動紹介パネルの展示



富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム関連展示

29） 富士山ダービー ヴァンフォーレ甲府 vs 清水エスパルス試合会場での PR・啓発活動

11 月 22 日（日）、山梨中銀スタジアム（甲府市小瀬町）で開催された上記試合会場で、山梨日日新聞社の協力をいただき、PR・啓発および募金活動を実施しました。

試合会場での PR ブース

募金活動をお手伝いいただいた山梨日日新聞社の方々

ハーフタイムには、富士山会議のフラッグが試合場を一周、ビッグビジョンでもロゴマークを掲出

30） 富士山の日記念イベント動画コンテスト（Fujisan Film Fes）のロゴマークを提供

2016 年 2 月 23 日（火）に開催される富士山の日に向けて募集する（2015 年 12 月 10 募集開始）動画コンテスト（Fujisan Film Fes）のロゴマークを富士山会議で作成、提供しました。

31） 富士山会議ロゴマーク英語版を作成

従来のロゴマークに加え、外国人にも訴求するため、英文を添えたロゴマークを新たに作成、12 月 10 日（木）リリースしました。

5 富士山基金事業と富士山基金への寄付

富士山基金は 2006 年 7 月 1 日に設立。幅広い募金活動を通じて、富士山の世界文化遺産登録の運動を地元静岡・山梨はもちろんのこと、広く全国にアピール、富士山の保全管理活動を国・地方自治体だけに頼るのではない、新しい官民一体の運動体とすることで、国民の環境や日本の文化に対する意識改革につなげることを目的としています。

2014 年度末富士山基金残高 ：	29,457,666 円
2015 年度富士山基金募金額 ：	10,156,951 円（10,151,216 円と利息 5,735 円）
2015 年度富士山基金取崩額 ：	△8,466,696 円（8,465,508 円と振替手数料等 1,188 円）
2015 年度末累計残高 ：	31,131,896 円（本口座より振替予定分を含む）

1．2015年度富士山基金を利用した PR/啓発活動

1)「富士の国づくりキッズ・スタディ・プログラム」の推進

本年は静岡・山梨両県と共同で教材の改訂を実施しました。改訂の詳細は前記の通りですが、改訂した教材を静岡県内全小学校に配布し、授業実施を促しました。2016 年度は、山梨県内の全小学校に教材を配布、また、静岡県では他県の小学校との共同授業を実験的に実施する予定です。

金額　2，565，070円

2)「いつまでも富士山を世界遺産に」啓発シールの作成

昨年に続き、登山者、来訪者等への啓発のためのツールとして「いつまでも富士山を世界遺産に」シールを作成しました。山梨県吉田口登山道の山小屋、静岡県各登山口等で配布いただきました。また、各地でのイベント等の機会に配布、世界遺産富士山の保全の啓発に努めました。

金額　3，012，430円

3)「富嶽三十六プロジェクト」の推進

2,013 年の世界遺産登録を機にスタートしたプロジェクトです。今年度は新たに「富嶽三十六理容室」のレーベルを追加し、プロジェクトの拡大を図りました。

10 月 23 日（金）には、第 7 回富士山世界分会遺産協議会において、「富嶽三十六チャレンジ」で募集・選出した「富嶽三十六コピー」を両県知事に贈呈しました。

金額　867，343円

4)「富士山インタビュー」の推進

様々な分野で富士山に関わる仕事を続けている方々に登場していただき、富士山との出会い、関わり方とその歴史、富士山への思い等をうかがい、紹介するページをホームページに新設しました。第1回目の富士登山のスペシャリストである㈱フィールド＆マウンテン代表取締役　山田淳さんを皮切りに、14 人の富士山スペシャリルトをご紹介しました。

金額　2，020，665円

2. 2015年度主な富士山基金寄付

【2015 年度　主な寄付者ﾘｽﾄ】

寄付者名	金額
朝霧ハイランド㈱	80,000
アサヒ飲料㈱	276,130
アサヒビール㈱	3,989,405
ウイルビー㈱	1,290
㈱NN	5,832
㈱エフ・ジェイ	21,302
エンドウ　スミコ	92
㈱小栗農園	1,984
カドノナオヨシ	26
㈱かまわぬ	44,688
軽石　英美	2,000
㈱キャトラン	9,174
グッバイマーケット	30,000
㈱ケイミックス	33,810
㈱ケーアイ・フレッシュアクセス	584,226
甲陵高校	16,371
小西　潤	5,100
サノジュンイチロウ	500
㈱三七七六（裾野もののふの里銘酒会）	37,760
GMO ペイメントゲートウェイ	42,059
㈱ジェーシービー	8,500
静岡銀行インターネットバンキング	9,773
静岡県理容生活衛生同業組合沼津支部	5,000
㈱静岡茶園	8,698
(財)ｼﾞｬｽﾄｷﾞﾋﾞﾝｸﾞ	74,469
菅原工芸硝子㈱	107,825
大安商事㈱	36,317
㈱大和工業	7,010
田坂　英樹	6,000
玉田　君峰	1,000
㈱100percent	31,890

㈱ドゥオモ	9,018
東京西海㈱	9,762
㈱中川政七商店	418,223
ニシムラ　トシエ	15
日本ｶﾝﾀｰﾋﾞﾚｺﾝｻｰﾄ	3,542
㈱パブリックデザイン	16,638
火祭りロードレース	8,273
ヒライシ　カエコ	5,000
富嶽三十六カンパイ！	8,500
富嶽三十六・試合	47,580
富士山会議有志	6,822
㈱藤二誠	718,000
㈱ベネフィト・ワン	225,756
㈱ポポラマーマ	14,700
㈱マークス	95,720
松永　民生	5,000
㈱丸久物産	37,020
㈱ミロク	41,290
米久㈱	2,930,225
47CLUB	9,900
㈱ルーク	42,490

（敬称略）　（単位：円）

※寄付者数：　51

※匿名希望の方は表記しておりません